

東日本大震災小児医療復興新生事務局会議（第2回）の概要

H25.3.25 13:30～15:40(福島県自治会館)

【出席】

- 福島県 保健福祉部地域医療課
下重 修 主幹兼副課長
本多由美子 主任主査
- 宮城県 保健福祉部
大久保久美子 医療政策専門監
保健福祉部医療整備課
二宮 雄大 主事
- 岩手県 医療局
細川 孝夫 参与
保健福祉部医師支援推進室
今野 秀一 医師支援推進監

【オブザーバー】

- 東京都立小児総合医療センター
齊藤 修 救命・集中治療部 集中治療科長
- 岩手県立大船渡病院
瀧向 透 副院長

(進行 今野)

- 別添資料に基づき、これまでの支援の申出・受入状況、課題、今後の対応等について各県より、説明。その後、協議。主なやりとりは次の通り。

・ 支援要請の各県の基本スタンスについて

<齊藤> 特に遠方からの支援の場合、支援医師によっては、受け入れ側の多額の経費負担を強いても、なお、支援する意義があるのか・・・という葛藤を抱くケースもある模様。これについて各県はどのようなスタンスに立つのか。

<各県>

- ・ スポットの支援に対して、多額の移動滞在費を要する場合もあり、単純な損得勘定のみで見れば疑問の余地もあろうが、まずは、その目で見ただけでこと自体に大きな意義がある。
- ・ 支援医師を通じたネットワークが広がるケースが多々あり。
- ・ 地域医療再生基金による財政補填がいつまでも続くわけではないが、全体のボリュームとしてそれほど大きな経費負担ではない。
- ・ もともとの著しい医師不足の背景がある。地域医療の確保の観点も当然必要。

たとえ、遠方であろうと地域医療を守るため、多くの支援を少しでも3県で分かち合えるよう最大限の努力を惜しまないという認識で一致。

・ **復興新生事務局のホームページの開設・運営について**

- ・ 齋藤 dr.から学会から経費支援を受けてのホームページ開設について説明
- ・ PC 画面に画面により、イメージ説明。

開設時期：小児科学会のホームページ更新に合わせ、4月早々にも立ち上げたい。

コメント作成等、掲載内容について、今月中にもお願いして行くので、よろしく対応願いたい。

内容の更新：

- ・ 以降の内容更新については、各県において責任を持って行っていただきたい。

更新等は、各県からアクセスし、行えるようにしておく。

- ・ ホームページの求心力の維持（向上）のためには、頻繁な内容更新が不可欠。特に立ち上げから当面の間については、コメントの更新等、きめ細かな更新を徹底されたい。

サーバーの管理、経費負担等について：

- ・ 当面（3年程度か）、学会の経費支援により運営していくが、いずれは、各県にお願いすることになる。

各県で保有するサーバー等の活用の可否等について検討願いたい。

各県了解。

・ **支援申出の際の「応募フォーマット」について**

- ・ 宮城県の二宮主事から趣旨等について別添「様式」を示して説明あり。
- ・ 最低限必要な情報について、予め、募集ホームページ上に示し、原則、当該様式により申し出をいただくとの主旨。
- ・ これについて、迅速なコンタクトに及ぼす影響、記載を、言わば義務付けることに対する医師の心理的抵抗感等についての懸念の意見もあったところ。

フォーマットをホームページ上に示すこととしつつも、義務付けはせず、電話、メール、FAX 等と並列する連絡手段の一つとして位置付けることとして、各県了解。

・ **次回の会議の持ち方について**

6月乃至7月の開催とする。

開催地は岩手県、進行も岩手県が担うこととする。